令和７年度

事業報告

社会福祉法人　自立の里

目　次

◎法 人 本 部　　・・・・・・・・・・・・ １ページ

◎障がい福祉サービス事業所　大地

生 活 介 護 事 業　・・・・・・・・・・ ５ページ

日中一時支援事業　・・・・・・・・・・１２ページ

相 談 支 援 事 業　・・・・・・・・・・１３ページ

放課後等デイサービス事業　・・・・・・・・・・１６ページ

◎障がい福祉サービス事業所　大空

生 活 介 護 事 業　・・・・・・・・・・１８ページ

日中一時支援事業　・・・・・・・・・・２４ページ

居 宅 介 護 事 業　・・・・・・・・・・２５ページ

短 期 入 所 事 業　・・・・・・・・・・３０ページ

法人本部

≪総　括≫

（１） 令和７年度は、４年ぶりに法人役員、評議員及び評議員選任・解任委員の一斉改選が行われた。
（２） 法人事業全体の収益状況は４期連続の黒字決算となった。しかしながら、近年は、最低賃金上昇等による人件費並びに老朽化による施設、設備及び車両等の修繕・改修・買換え費等の事業活動支出等が増加し、最終的に収益が減少する傾向が強まっている。
（３） 親亡き後について、成年後見制度を活用することは一つの重要な方策であるが、保護者会と法人共催の学習会を福岡市成年後見推進センターによる出前講座により実施した。

１．法人役員、評議員及び評議員選任・解任委員の一斉改選

令和７年度は、４年ぶりに法人役員、評議員及び評議員選任・解任委員の一斉改選が行われた年度であった。役員及び評議員選任・解任委員は全員重任となり評議員１名のみ交代となった。

２．法人事業全体の収益状況

ここ数年、毎年最低賃金が大幅に上がっており、パート人件費を含む人件費支出が増加している。また、人手不足も深刻化し、人材確保のために、人材紹介会社や派遣会社に高額な紹介手数料等を支払わざるを得なくなっている。さらに、建物・設備や送迎車等も老朽化し、修繕、改修、買換え等が必要となるなど、事業費支出や事務費支出も増加している。

したがって、サービス利用者が増え事業活動収入が増えたとしても、事業活動支出及び固定資産取得支出で相殺され、大幅な収益には繋がらない状況となっている。

なお、令和７年度に、元保護者から多額の寄付をいただき、施設整備積立金として積み立てた。

３．親亡き後の対応

令和７年度は、成年後見制度について、保護者会と法人共催の学習会を福岡市成年後見推進センターによる出前講座により実施した。また、障がい者及びその家族に向けた身体障害者福祉協会と弁護士会共催の成年後見制度説明会に、参加を希望した障がい者及びその家族とともに当法人からも参加し、成年後見制度及び信託制度について学習した。

なお、今後、成年後見制度の大改正が予定されていることから、再度、出前講座等による学習会を実施する予定である。

４．その他

相談支援事業について、これまでの障がい者に対する計画相談支援に加えて障がい児に対する計画相談支援を行うため、定款変更により、当法人が実施する社会福祉事業として、第２種社会福祉事業である「障害児相談支援事業」を加え、当該事業を実施した。

５．評議員会　開催状況

回数	開催日	議　題
第１回	６月２３日	（１）審議事項 ・第１号議案　令和６年度事業報告及び収支決算について ・第２号議案　理事及び監事の選任について ・第３号議案　定款変更について （２）報告事項 ・令和７年度事業計画及び収支予算について
第２回	２月　４日	（１）審議事項 ・第１号議案　理事の選任について （２）報告事項 ・放課後等デイサービス「だいち」の増築について

６．理事会　開催状況

回数	開催日	議　題
第１回	６月　６日	（１）審議事項 ・第１号議案　令和６年度事業報告及び収支決算について ・第２号議案　理事及び監事候補者の推薦について ・第３号議案　評議員候補者の推薦について ・第４号議案　評議員選任・解任委員の選任について ・第５号議案　定款変更について ・第６号議案　令和７年度定時評議員会の招集について （２）報告事項 ・職務執行状況報告（理事長） ・職務執行状況報告（業務執行理事）
第２回	６月２３日	（１）審議事項 ・第１号議案　理事長及び業務執行理事の選定について （２）報告事項 ・評議員の選任について
第３回	１月２２日	（１）審議事項 ・第１号議案　理事候補者の推薦について ・第２号議案　大地及び大空の管理者の選任について ・第３号議案　令和７年度第２回評議員会の招集について （２）報告事項 ・放課後等デイサービス「だいち」の増築について

回数	開催日	議　題
第４回	３月２７日	（１）審議事項 ・第１号議案　令和７年度補正予算（案）について ・第２号議案　令和８年度事業計画（案）について ・第３号議案　令和８年度収支予算（案）について ・第４号議案　業務執行理事の選任について ・第５号議案　給与規程の改正について （２）報告事項 ・職務執行状況報告（理事長） ・職務執行状況報告（業務執行理事） ・放課後等デイサービス「だいち」の増築について

７．社会福祉法人等指導監査（行政監査）

実施日	令和８年２月２７日（実施なしの通知）
内容・結果	指導監査（法人運営に係る監査）を実施されなかったため、指導監査ガイドライン（保健福祉局所管法人点検用）」による自主点検を実施した。

８．寄贈寄附

（１）寄附金

区　分	件数（件）	金額（円）
本部	2	13,991,197
大地	1	100,000
大空	1	100,000
合　計	4	14,191,197

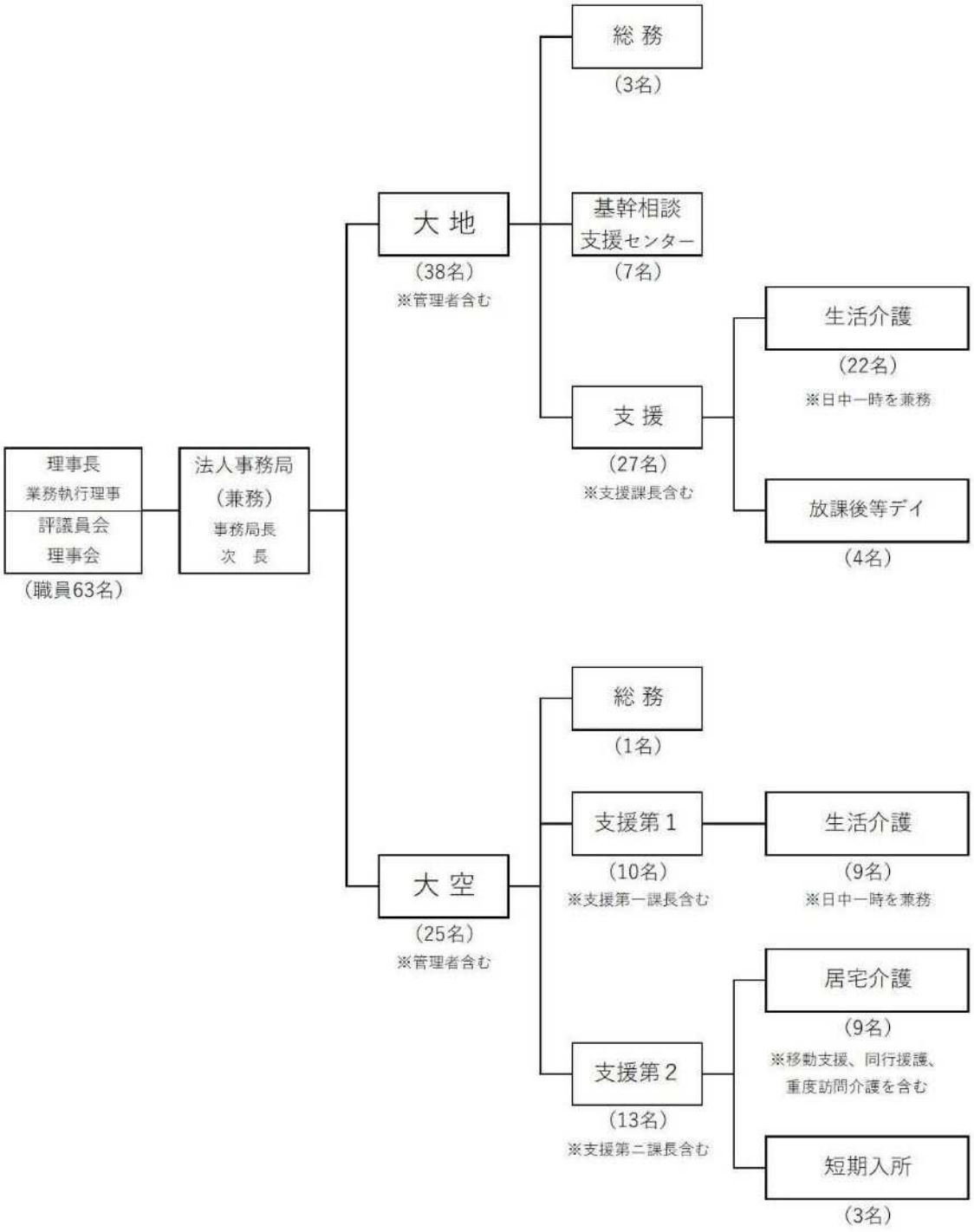
（２）寄贈

なし

９．職員の状況（令和８年３月３１日現在）

（参考）

社会福祉法人 自立の里 組織図



≪総　括≫

１．生活介護事業

令和７年度は、特別支援学校の卒業生３名が加わり、契約者が４８名でスタートし、１１月からは元利用者が通所を再開したため４９名となった。近年、通所施設を併用する利用者が増加していることや、既存利用者の利用率が低下していることなどもあり、令和７年度の平均利用者数は３５．７人となった。また、今年は３月に航空会社の協力のもと福岡空港見学を企画し、利用者・保護者にイベントを楽しんでもらうことができた。今後も様々な企画やイベントを開催することで利用率の向上を図りながら、特別支援学校等の実習を積極的に受け入れ、新規利用者の獲得に繋げていきたい。職員体制については、年度途中でパート職員が退職したことや、年度末で職員の異動・退職もあったため、今後は人員の補充を行っていきながら、新人職員等の育成・研修体制の強化を図り、支援の質の向上や利用者が安心して過ごせる環境を作っていきたい。

２．相談支援事業

「総合相談に対応できる人材育成及び専門性の向上」は、ケース会議を行う他、地域の相談支援事業所に対しグループスーパービジョンを定期的に開催した。博多区部会において検討した地域課題「依存症への支援について」は、福岡市障がい者等地域生活支援協議会に重点課題として報告された。

相談支援ネットワーク会議において、いきいきセンターとの共同企画を行い、また権利擁護ネットワーク協議会の研修協力等、重層的支援体制整備の一端を担うようになっている。障がいのある方の重度化、高齢化や「親なき後」の生活の安心も見据え、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、さらに地域生活支援拠点等の整備を進めていきたい。

３．放課後等デイサービス事業

令和７年度は新たな職員体制で業務を開始した。育児休暇中の理学療法士が復職するまでの間は加算が取得できない状況が続いていたが、看護師を２名配置する等しながら利用者の受け入れ人数を増やしたことで、昨年を上回る人数を受け入れることができた。

また、生活介護との交流を積極的に行った。生活介護のイベントには可能な限り参加をして、利用児童が様々な経験や他事業の職員と多くのコミュニケーションが取れるように努めた結果、生活介護の見学や実習に結びつき、最終的には卒業生の生活介護利用に繋げることができた。

生活介護

１．新規利用者の獲得

（１）特別支援学校等と連携を図りながら、実習生の受け入れを実施した。

（２）グループ編成の見直しを行い、受入れ体制を整えた。

２．保護者・家族や各関係機関等との連携

（１）利用者の状況に応じて保護者・家族・グループホーム・相談員と連携し、担当者会議を実施した。会議を通して各関係機関とより綿密な情報共有や今後の支援の方向性などを整理した。

（２）利用者の体調面に不安がある際は、保護者やグループホームと連携して医療機関へ情報提供を依頼し、安定したサービス利用ができるよう取り組んだ。

（３）利用者が抱える課題等について、定期的に保護者や他事業所等と情報共有や協議を行いながら、本人への共通した対応や課題の解決に取り組んだ。

３．職員の育成・研修

（１）職員のスキルアップのため、内部研修や外部研修に参加した。

（２）定期的に職員会議等を実施し、現状の情報共有や課題の対応策を協議し、支援方針や支援内容の確認、改善を行った。

４．地域交流及び啓発

（１）施設近隣の学校や保育園等と共同で「秋祭り in みかさ」を開催した。一部の職員は実行委員として携わるとともに、利用者と支援員もイベントに参加し、近隣の方々との交流を楽しんだ。また、大地の販売ブースを設け、利用者の制作したグッズを販売し、好評を得た。

（２）町内レクリエーションや地域清掃などの地域行事に参加し、今後の地域連携の体制づくりを見据えて交流を深めた。

（３）西日本短期大学の学生や先生方との交流授業を行い、障がい者や福祉業界への理解促進と継続した実習生受け入れ等の関係性の構築を行った。

（４）空港見学では、駐機場内等の普段入る事のできない場所へ行き、間近に飛行機を見るなど、非日常の体験ができた。また、別日で航空会社が来所してコルクキーホルダー作りのイベントに参加し、人との関わりも含めて楽しむことができた。

参考資料



【 夏祭り 】
嬉しそうに景品を渡す様子



【 クリスマス会 】
(株)あおやぎ様よりケーキの贈呈



【バルーンアート】
マルコさんと一緒にパシャリ♪



【福岡空港見学】
制限区域内に入って飛行機見学

５．地域交流イベント

イベント名	開催日	内　容
西日本短期大学との交流授業	６月２７日（金） １１月２８日（金）	当法人から２名の利用者が参加し、西日本短期大学の学生や先生方との交流を行い、障がい者への理解促進、関係性の構築を図った。

６．月別利用実績（定員４０人）

項　目	４月	５月	６月	７月	８月	９月
開所日数　　（日）	２２	２３	２２	２３	２３	２２
契約者数　　（人）	４８	４８	４８	４８	４８	４８
平均利用者数（人）	３６．７	３６．１	３５．３	３６．０	３５．６	３５．５
利用率　　（%）	７６．５	７５．２	７３．５	７５．０	７４．２	７４．０

項　目	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
開所日数　　（日）	２３	２２	２３	２３	２０	２３
契約者数　　（人）	４８	４９	４９	４９	４９	４９
平均利用者数（人）	３６．１	３５．７	３４．７	３５．３	３５．０	３６．２
利用率　　（%）	７５．２	７２．９	７０．８	７２．０	７１．４	７３．９

７．年度別利用実績

項　目	令和７年度	令和６年度	令和５年度
開所日数　　（日）	２６９	２６７	２６８
契約者数　　（人）	４８．４	４５．３	５０．３
月平均延べ利用者数（人）	８００	７５４	８３４
平均利用者数（人）	３５．７	３３．９	３７．３
利用率　　（%）	７３．８	７４．８	７４．２

８．土曜等のイベント状況

実 施 日	名　　称	内　　容	参加人数（人）
４月１９日（土）	歓迎会	お菓子を食べながら新しい利用者の紹介を行い、親睦を深めた。	36/48
５月３１日（土）	展覧会	制作風景や作品に込めた思いを知ってもらい、アート活動に対する興味を深めた。	39/48

実 施 日	名　　称	内　　容	参加人数（人）
８月　２日（土）	自立の里　交流会	ボッチャ大会を開催し、大地・大空の利用者や職員との交流を深めた。	35/48
８月　９日（土）	夏祭り	施設内で出店コーナーを設け、お祭りの雰囲気や季節感を楽しんだ。	40/48
９月２０日（土）	運動会	家族を招き、グループ対抗で競技に参加し、グループの団結力を深めながら楽しんだ。	37/48
１１月１８日（火）	秋祭り in みかさ 2025	施設近隣(隅田町内)の地域交流として秋祭りを実施。バザーやレクリエーションへ参加した。	37/49
１２月２０日（土）	クリスマス会	クリスマスプレゼントやクリスマスケーキが贈呈され、クリスマス会を楽しんだ。	34/49
１月１４日（土）	お茶会	施設内でお茶会を開催し、グループで新年の抱負を伝え合うなど絆を深めた。	32/49
１月３１日（土）	展覧会	活動の中でひとつひとつ、心を込めて作った作品を様々な人に披露した。	37/49
２月１４日（土）	自立の里　交流会	パフォーマーによるバルーンアートや手品を間近で体感しながら、大地・大空の交流を図った。	33/49
３月２８日（土）	お疲れ様会	１年間のねぎらいを込めて、利用者・職員と交流を楽しんだ。	36/49

９．健康管理実施状況

実 施 日	内　　容	実 施 者	人　数（人）	
４月　１日（火） ～６月２６日（木）	職員健康診断	福岡労働衛生研究所	職　員　４２	４２
９月１０日（水） ～９月１２日（金）	腰痛検査	伊藤整形外科 伊藤医師	職　員　２４	２４
１１月１１日（火）	インフルエンザ予防接種	博多駅南とくながクリニック 徳永医師（嘱託医）	利用者　１９ 職　員　　１	２０
５月　２日（金） ～３月３０日（月）	利用者健康診断	博多駅南とくながクリニック 徳永医師（嘱託医）	利用者　４８	４８

１０．利用者個別指導実施状況

（１）動作法　講師：舜地 勝人　氏

日　付	グループ
４月２２日（火）	Ａ・Ｃ
５月２７日（火）	Ａ・Ｂ
６月２４日（火）	Ａ・Ｂ・Ｃ
７月２２日（火）	Ａ・Ｂ
８月２６日（火）	Ａ・Ｂ
１０月２１日（火）	Ｂ・Ｃ
１２月２３日（火）	Ｂ・Ｃ
２月２４日（火）	Ａ・Ｃ

※別途年２回、大空との合同研修(動作法講義)を行った。

（２）作業療法（ＯＴ）　講師：原田　靖子　氏

日　付	グループ
４月１０日（木）	Ａ・Ｃ
５月　８日（木）	Ａ・Ｂ
６月１２日（木）	Ａ・Ｂ・Ｃ
７月１０日（木）	Ａ・Ｂ・Ｃ
８月１４日（木）	Ａ・Ｂ・Ｃ
９月１１日（木）	Ａ・Ｂ・Ｃ
１０月　９日（木）	Ｂ・Ｃ
１１月１３日（木）	Ａ・Ｃ
１２月１１日（木）	Ａ・Ｂ
１月　８日（木）	Ｂ・Ｃ
２月１２日（木）	Ａ・Ｃ

１１．派遣研修実施報告

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数(人)
５月２０日（火）	感染症予防の基本と企業における 感染症対策の考え	労働者健康安全機構	1
６月１２日（木） ６月２６日（木） ７月１０日（木） ７月２４日（木）	介護福祉士実習指導者講習会	しかくの学校ホットライン	2
６月１７日（火）	中堅職員研修	福岡県社会福祉協議会	1
６月１７日（金）	職員基礎研修	福岡県知的障がい福祉協会	1
６月１７日（金）	感染症予防研修（前期） web 研修	福岡市人権啓発センター	1
６月１７日（金）	社会福祉施設における 熱中症予防指導者研修	福岡県知的障がい福祉協会	1
９月　８日（月）	仕事の生産性・集中力・体力を向上させる「体調コントロール術」	福岡県知的障がい福祉協会	1
９月１８日（木） ９月２４日（水）	ティーチング研修	福岡県社会福祉協議会	1
１０月１４日（火）	楽しく成果をあげる チームでの仕事の進め方	労働者健康安全機構	1

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数(人)
１０月１５日（水）	中堅ポジションが知ると楽になる！ 自身のメンタルコントロール法と若年世代への指導法	労働者健康安全機構	1
１１月１１日（火） １１月１２日（水）	利用者・家族との コミュニケーション力向上研修	福岡県社会福祉協議会	2
１１月１８日（火）	SE ねっと「災害時の備えと避難訓練」	博多区第２障がい者基幹相談支援センター	1
１１月２８日（火）	令和 7 年度　感染症予防研修(後期) ～冬場に流行する感染症予防対策～　WEB	福岡県社会福祉協議会	2
１２月　３日（水）	障がい者の歯と口の健康づくり講習会	福岡県歯科医師会館	1
１２月　９日（火）	令和 7 年度記録実技研修（障がい者分野）	福岡県社会福祉協議会	1
１２月１２日（金） １２月１３日（土） １月　９日（金） １月１０日（土）	2025 年度福岡県サービス管理責任者・ 児童発達支援管理責任者基礎研修（後期）	公益社団法人 福岡県社会福祉士会	2
１月１４日（水） １月１５日（木）	令和 7 年度福岡県サービス管理責任者または 児童発達支援管理責任者　更新研修	一般財団法人保健福祉振興財団　福岡支部	1
１月２７日（火）	承認とエンゲージメント ～心と体育てる承認の科学～	労働者健康安全機構	1
１月３０日（金）	睡眠の科学 快眠のための認知行動アプローチ	労働者健康安全機構	1
２月　４日（水）	大人の発達障がいの職場での関わり方 合理的配慮について	労働者健康安全機構	1
２月　９日（月）	会議室でできるピラティス ～腰痛・転倒予防体操～	労働者健康安全機構	2

１２．内部研修

（１）新入職員研修

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数(人)
７月１６日（木）	新入職員研修① 自立の里の事業概要／虐待防止と身体拘束について 法人設立の経緯・歴史／職員処遇 庶務関係の諸手続き／収入支出	久保田課長　（大地） 栗田課長　（大地）	1
７月３１日（木）	新入職員研修② 障害者総合支援法のサービス／障害福祉の歴史と制度 医療面での障がい者の特性・注意点等	長澤課長　（相談支援） 大楠看護師　（大地）	1

（2）職員研修

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数(人)
５月１５日(木)	ＢＣＰ研修　感染症予防研修 （感染症予防研修）	医療法人 ハレクラニ　アロハ歯科	１７
９月１７日(水) ～　９月３０日(火)	虐待防止及び身体拘束防止研修	内部講師	全職員
１０月１７日(金)	ＢＣＰ訓練の災害研修・机上訓練 （地震発生時後の家族への連絡等）	内部講師	１６
１１月　１日(金)	利用者に合わせた介助方法と注意点 ～利用者Ｎ・Ｋ様の場合～ （E ラーニング研修）	内部講師	全職員
１２月１５日(月) ～１２月１９日(金)	ＢＣＰ訓練　手洗い研修	内部講師	全職員
２月　５日(木)	ＢＣＰ研修　睡眠セミナー	東洋羽毛 九州販売株式会社	全職員
２月１６日(月) ～２月２０日(金)	ＢＣＰ訓練　汚物処理研修	内部講師	全職員

※上記職員研修については、生活介護職員、放課後等デイサービス職員、総務職員を対象として実施。

※E ラーニング研修…インターネットを通じて学習や研修を行うことです。スマートフォンなど身近なデジタル機器を利用して受講します。

（3）大空との合同研修

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数(人)
９月３０日（火）	動作法講義「症例ビデオ解説・質問への回答」	昴地 勝人　氏	１０
１月２７日（火）	動作法講義「症例ビデオ解説・動作法基礎知識」	昴地 勝人　氏	１２

１３．消火・通報・避難訓練

日　　程	訓練種別	参加人数（人）	
５月２９日(水)	総合訓練 （災害・通報及び避難誘導）	利用者　３６ 職　員　３４	７０
１１月　４日(火)	総合訓練 （消火・通報及び避難誘導）	利用者　３８ 職　員　２３	６１

１４．利用者アンケート

※　別紙「令和７年度　利用者満足度調査アンケート」参照

日中一時支援

令和７年度の月平均利用件数は０．３件、年間利用件数は３件であった。

（１）月別延べ利用者数

（単位：人）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
０	０	０	０	１	０	０	０	２	０	０	０	３

相談支援

１．総合相談に対応できる人材の育成及び専門性の向上

（１）ケース検討会議を週１回程度開催した。

（２）所内でのスーパービジョン（指導、助言等）を通じて人材育成を行い、地域の相談支援事業所に対し月１回グループスーパービジョンを実施した。

（３）新たに障がい児相談支援事業の指定を受け、障がい児を対象とした相談支援の充実を図った。

２．地域生活支援協議会の博多区部会運営、ネットワーク構築

（１）博多区部会

委　　員：福祉・介護保険課、健康課、博多高等学園、南福岡特別支援学校
博多障がい者フレンドホーム、社会福祉協議会、福岡市発達障がい者支援センター

オブザーバー：東福岡特別支援学校、福岡市基幹相談支援センター

実 施 日	名　称	主な協議内容
５月１５日	第１回	地域課題「複数ある総合相談窓口の連携について」
７月１７日	第２回	地域課題「依存症への支援について」
９月１８日	第３回	地域課題「親にも障がいや特性があり、子の療育等に影響がでる」
１１月２０日	第４回	地域課題「ヤングケアラーを地域の中でどう支えていくか」
１月２２日	第５回	
３月１９日	第６回	地域課題「強度行動障がいの方の住まい」

（２）ネットワーク構築

①相談支援事業所ネットワーク会議

相談支援ネットワーク会議を３回実施し、地域の指定特定相談支援事業所のスキルアップと人材育成を行った。

実 施 日	名　称	内　容
５月２１日	第１回	事例検討会～改めて野中式～
７月１６日	第２回	多職種連携Ⅰ〔介護・医療〕
１０月１５日	第３回	多職種連携Ⅱ〔就労・通所〕
１月２１日	第４回	インフォーマルな社会資源を知ろう

②業種ごとのネットワーク構築

住まいや生活に関わるさまざまな機関が交流する機会として、生活介護、短期入所、居宅介護、グループホーム、相談支援を対象に研修会を実施した。

実 施 日	名　称	内　容
９月１３日	第１回はかた暮らしネットワーク会議	「地域で暮らすための第一歩」 ～罪に問われた方の支援を考える～
３月１３日	第２回はかた暮らしネットワーク会議	「つなぐ支える金銭課題」

③精神保健福祉ネットワーク会議

実行委員会にて、精神保健福祉ネットワーク会議の企画立案を行った。

実 施 日	名　称	内　容
８月２０日	精神保健福祉ネットワーク会議	事例検討会
２月　８日	精神保健福祉ネットワーク会議	明日から使える！医療と福祉の連携のコツ

３．地域福祉の基盤づくり

（１）啓発活動

広報誌を年３回発行。校区担当制により民生委員児童委員協議会に参加して、地域で抱える課題の掘り起こしとその解決に努めた。

（２）東と博多の重心・医ケアねっと（ＳＥねっと）

ＳＥねっと事務局会議のメンバーを強化し、年４回情報交換会及び勉強会を実施した。また、「事業所情報シート」を作成し、社会資源へのアクセシビリティの向上を図った。

実 施 日	名　称	内　容
７月２４日	ＳＥねっと情報交換会	重心や医ケア児（者）の家族支援・メンタルケアについて考えよう！
９月２４日	ＳＥねっと オンライン勉強会	もしものときに“守れる現場”がつくれるように ～呼吸器の知識と災害時対応～
１１月２４日	ＳＥねっと勉強会	もしものときに“守れる現場”がつくれるように ～災害に向けた備えや必要な支援を知ろう～
１月２８日	ＳＥねっと オンライン勉強会	肢体不自由特別支援学校での取り組み ～進路を見据えて～

（３）地域生活支援拠点等の整備

障がいのある方の重度化、高齢化や「親なき後」の生活の安心も見据え、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、地域生活支援拠点等の整備を進めていきたい。

４．職員の教育・研修の充実

実 施 日	研修内容	参加人数（人）
４月２２日	【Co 研修】 基幹相談支援センターの機能、市の相談支援体制と自立支援協議会	2
５月２３日	【Co 研修】虐待防止研修	2
６月１２日	障がい者行動支援研修（初任者研修・か～む実地研修）	1
６月１７日	【Co 研修】ケアマネジメントの実践	1
６月１９日	福岡県北部地区在宅重症児者連携会議 地域移行・地域定着の実現	2
６月２５日	福岡県医療的ケア児等コーディネーターネットワーク 『成人期の豊かな暮らしを目指して』	1
６月～８月	福岡県相談支援初任者従事者研修	1

実 施 日	研修内容	参加人数（人）
７月１５日	地域生活支援指導者養成研修（薬物依存）	1
７月２４日	3センター合同研修会『地域で支える長期就労』	1
７月２９日	福岡市地域生活支援拠点等整備　啓発研修（管理者向け）	2
８月２１日	福岡市若者支援地域協議会実務者及び若者支援団体ネットワーク交流会	2
８月２８日	【Co研修】ファシリテーション技術	3
９月　４日	高齢者権利擁護～成年後見制度について～	2
９月１７日	【Co研修】事例検討会（第1回）　＊事例提供	1
９月１９日	依存症者回復支援センター『エール』研修会	1
９月２４日	博多区要保護児童支援地域協議会 『発達が気になるお子さんへの対応』	2
１０月３０日	【Co研修】地域共生社会について～福岡市社協の取り組み～	2
１１月5，6日	高次脳機能障がい支援者養成研修	1
１１月　５日	高齢者権利擁護～意思決定支援について～	1
１１月　６日	自殺未遂者支援研修	2
１１月　７日	【Co研修】事例検討会（第2回）	1
１１月２０日	地域生活支援指導者養成研修（ギャンブル等依存）	1
１１月２０日	福岡県北部地区在宅重症児者連携会議「支援の在り方を問い直す」	1
１２月１１日	九州地区障がい者相談支援事業合同研修会 in 宮崎	2
１２月２２日	「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」に支援者研修会	1
１２月２４日	【Co研修】アウトリーチを通した地域移行	2
１月　８日	成年後見制度における市町村長申立等研修会	1
１月３０日	相談支援従事者向け障がい者虐待防止研修	6
２月　２日	ヤングケアラー関係機関職員等研修	1
２月２４日	【Co研修】事例検討会（重度障がい者の事例）	2
２月～３月	福岡県強度行動障がい支援者養成研修　基礎・実践研修	1
３月１１日	【Co研修】全体研修『相談支援専門員としての地域での挑戦！』	2

５．ICT等の活用と働きやすい環境づくり

（１）全職員及び協定事業所に対し個人情報保護研修を実施した。

（２）BCP（業務継続計画）の更新を行い、災害や感染症への対応力を強化した。

（３）異動により新たに配属になった職員に対するメンタルヘルスケアに配慮した。

放課後等デイサービス

１．安定した事業収支への取り組み

（１）令和７年度は、前年度に引き続き年末年始を除く日は全日利用があった。また、平均利用人数が前年度と同様に５名以上となり、継続して収支は黒字となった。

（２）前年度に続き新規で医療的ケア児の利用希望を受ける機会は多いが、看護師の体制や設備面等の関係で、現在実施している医療的ケア児以外の対応について断らざるを得ない状況であった。令和８年度は定員増の手続き及び支援室の増築を実施するため、スペース拡充により若干名の医療的ケア児の受け入れが可能となる予定である。

（３）既存の利用者の利用日数を増やしたことで、利用定員数を満たす日が多くなり、結果利用希望を断る日もあった。

（４）育児休暇に入っていた職員が復職したため、配置に必要な人員の確保・維持が容易になり、定員に対する１５０％までの受け入れを継続して行うことができた。

２．だいち独自の活動や、児童の特性を活かした支援

（１）理学療法士(ＰＴ)の育児休暇からの復職と、生活介護兼務の作業療法士(ＯＴ)を採用したことにより、利用児童の特性に応じた支援の充実ができている。

（２）生活介護のイベントにも参加し、他事業の職員や利用者とも交流を図ることができた。

（３）季節やイベントに応じた制作物を作成して家庭へ持ち帰り、コミュニケーションツールとして繋げることができた。

（４）令和７年度は高等部卒業生のみの利用日を設け、卒業旅行と称してマリンワールドへの外出や、航空会社の協力のもと、空港駐機場内の見学を実施する等外出の機会を増やすことができた。

（５）各利用児童の訪問リハビリや訓練施設へ見学を行う予定であったが、実施には至らなかった。今後は訓練先と連携を図り、訓練等の様子を参考にして、日々の支援へ反映していく。

３．広報力、対外関係との繋がりの強化

（１）ＳＥねっと等の交流会に参加して、重心児・者に関わる施設の関係者との事例検討会や施設紹介等、情報交換を実施した。

（２）担当者会議を通して、他事業所の職員と利用児童に関する情報共有や意見交換ができた。

（３）SNS の更新は滞っているが、保護者に対する日々の活動の様子に関しては、画像を含めて伝えることができている。

（４）地域のボッチャ大会に参加して、地域住民や保育園等との交流ができた。

＜参加イベント＞

５月：展覧会　　８月：夏祭り　　９月：運動会　　１２月：クリスマス会

１月：展覧会　　２月：ボッチャ大会　３月：卒業旅行(外出)、スカイマークとの合同イベント

４．法人内での業務連携

（１）卒業後の進路を見据えて、利用児童の家族から当法人の生活介護への実習や見学の依頼があった。双方へ情報提供を行い、円滑にやり取りができるように努めた結果、令和７年度卒業生４名のうち３名が法人内の生活介護を利用することが決まった。

（２）当法人の居宅介護、短期入所への利用希望が入った際は、紹介を行って契約へと繋げた。

５．利用実績

単位：人

令和７年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開所日数　（日）	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25	292(合計)
利用人数　（人）	127	107	121	142	138	127	129	125	116	128	120	136	1,516(合計)
1日平均利用(人)	5.1	4.5	4.8	5.5	5.5	5.3	5.0	5.4	4.8	5.6	5.5	5.4	5.2(平均)

令和６年度比＋３５名(+２．３%)

※令和６年度【年間利用延べ人数：１，４８１人／令和５年度対比：+９５人（+６．８%)】

※令和７年５～６月は百日咳、１２月はインフルエンザによるキャンセルが多く発生した。

６．利用状況(令和８年３月３１日現在)

（１）通学先

単位:人

区　分	人　　数（人）
南福岡特別支援学校	２０（小学部：８　中学部：４　高等部：８）
他支援学校生(東福岡特別支援学校)	１（　高等部：１　）
合　計	２１

1年間に1回以上利用した児童の数

（２）男女比　【契約者数：25人／本年度増減＋４　※高等部卒業生４名】

単位：人

項目/学部･性別	合　計		小学部		中学部		高等部	
	男	女	男	女	男	女	男	女
契約者数	19	6	7	1	5	1	7	4
実利用人数	16	5	7	1	4	0	5	4

※実利用人数とは、１年間に１回以上利用した児童の数

７．利用状況(各年度末時点)

項目／年度	令和７年度	令和６年度	令和５年度	令和４年度
開所日数(うち土曜日)	292(50)	293(50)	292(50)	287(48)
契約者数	25	24	20	20
年間延べ利用者数（うち土曜日）	1,516(239)	1,481(203)	1,386(206)	1,225(196)
一日平均利用者数	5.2	5.1	4.7	4.3

障がい福祉サービス事業所　大　空

≪総　括≫

生活介護事業については、年度内に４名の支援員が退職した。補充については、その都度募集を行って採用し、後任を配置した。採用された者は、ほとんどが有資格者や経験者等であったため、直ちに介助ができ、即戦力となった。利用者については、２２名の契約のうち、１名は体調が整わず通うことはなかったが、その他の２１名については、日々、元気に通所した。

居宅介護事業は職員・登録ヘルパーの退職等により人員体制が不安定となったが、既存職員や兼務職員の協力によりサービス提供の安定・維持に努めてきた。しかしながら、利用者の入院や体調不良によるキャンセルが多かったため、収益は減少している。

短期入所事業は緊急依頼の減少や利用者数の微減により利用日数の増加には至らなかったが、職員間の連携と兼務体制により受け入れ体制を維持し、必要時のサービス提供体制を確保してきた。またオンライン研修システムの導入により職員の専門性や資質向上に努め、更なるサービスの向上に繋げた。

生活介護

１．利用者の身体機能・精神機能の現状及び課題の把握

（１）　家族の入院に伴い長期間短期入所を利用する利用者については、本人のストレスや発作につながらないよう、他事業所、家族及び職員間で密に体調管理に係る情報を共有した。

また、新たに医療的ケアを検討する利用者について、担当者会議等で本人の症状や体調等について報告するとともに、家族に医療的ケアの必要性について説明等を行うなどし、本人が安心して日々を過ごせるよう、関係者間で課題を把握・共有した。

（２）　支援員の退職ごとに、新しい職員が順次入職した。しかしながら、新入職員に対しては、まずは、利用者に対する介助・支援方法を伝えることが主となった。その後、利用者の身体機能や精神機能の現状等の共有に努めたが十分とはいえなかった。

今後、現在に至るまでの利用者の身体的機能・精神的機能の状況について、全職員で共有し、課題把握に努める必要がある。

２．利用者に係る課題の精査及びチームアプローチによる介助・支援の実施

（１）　サービスを提供する中で、利用者の表情や体調等に変化があったときは、職員間で情報共有した後、対応に適した支援員を配置し、利用者の体調や精神の安定に努めた。また、利用者の帰宅後、対応方法やその趣旨について職員に伝え、以後、全員が同じ対応が取れるようにした。

（２）　定期的な勉強会やミーティング等で、職員に対し、利用者の状況や支援の考え方等について説明をした。しかしながら、職員個々の考え方には相違があるため、職員に対し、支援の必要性及び支援方法等について時間をかけて説明をし、日常と異なる事柄が生じた際にも職員全員が同じ考え方で動き、利用者が安心してサービスを受けられるようにしていく必要がある。

３．定期的な OJT、専門研究及び OFF-JT への参加

（１）　定期的に OJT や専門研究を実施し、食事介助、発作時の対処方法等及び利用者の日々の体調管理等について研修を行った。そのことにより、個々の職員が、担当する利用者以外の全ての利用者の情報を知ることができ、利用者の様子が「いつもと何となく違う気がする」等、意識して見ることや感じることができるようになった。

（２）　しかしながら、職員の入れ替わりが多かったので、職員に、利用者に対する介助・支援方法を伝え、利用者が十分な介助・支援を受けられることを優先事項とした。そのため、職員の外部研修への参加は見送らざるを得ないことが多かった。今後は、より積極的に OFF-JT への参加を職員に促し、福祉の心構えや活動内容等に係るより高度な知識を修得できる機会を作る必要がある。

参考資料



5 月　麻生医療福祉専門学校の学生にプレゼンテーションをする様子



8 月　自立の里交流会
大地の利用者とボッチャを楽しむ様子



9 月　今津特別支援学校開催のバザーで雑貨商品を販売している様子



11 月　活動支援参観
避難訓練を行っている様子

４．月別利用実績（定員２０人）

項 目	４月	５月	６月	７月	８月	９月
開所日数　(日)	２２	２３	２２	２３	２３	２２
月平均契約者数(人)	２２	２２	２２	２２	２２	２２
１日平均利用者数(人)	１６.９	１８.１	１７.９	１８.３	１５.９	１７.６
平均利用率　(%)	７６.７	８２.２	８１.４	８３.０	７２.３	８０.２

項 目	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
開所日数　(日)	２３	２２	２３	２２	２０	２３
月平均契約者数(人)	２２	２２	２２	２２	２２	２３
１日平均利用者数(人)	１８.６	１７.８	１７.４	１７.５	１６.１	１８.６
平均利用率　(%)	８４.６	８０.８	７５.５	７９.５	８０.５	８４.１

５．年度別利用実績

項 目	令和７年度	令和６年度	令和５年度
開所日数　(日)	２６８	２６５	２６７
月平均契約者数(人)	２２.０	２２.０	２２.０
月平均延べ利用者数(人)	３９３	３９４	４１１
１日平均利用者数(人)	１７.７	１７.８	１８.５
平均利用率　(%)	８０.３	８１.１	８４.０

６．土曜等のイベント状況

実 施 日	イベント名	内　　容	参加利用者(人)
４月１１日(土)	歓迎会	新人職員１名、異動職員１名を歓迎し、自己紹介や質問をする等して親睦を深めた。	16 / 22
５月　９日（土）	母の日	日頃の感謝を込め、カーネーションクリップとメッセージカードを作った。	17 / 22
６月１４日(土)	父の日	日頃の感謝を込め、お守りとメッセージカードを作った。	13 / 22
７月１２日(土)	展覧会	テーマを『空へ届けみんなの願い』に決め、作品を作り展示した。	16 / 22
８月　２日(土)	自立の里交流会 ボッチャ大会	ボッチャ大会を実施し、法人内での交流を楽しんだ。	15 / 22
８月２３日(土)	夏祭り	輪投げやたこ焼き飛ばし、お菓子を釣る等して祭りを楽しんだ。	17 / 22
９月　６日(土)	コンサート	外部アーティストの『ABE&AKI　Quartet』を招致し、ジャズを聴いて楽しんだ。	16 / 22
９月２０日(土)	運動会	2 つのグループに分かれ、借り物競争や玉入れ等の競技をして勝敗を楽しんだ。	15 / 22
１０月１１日(土)	雑貨 Café MOCO CAFE	チーズケーキやかぼちゃプリンを手作りし、来客に振舞った。	16 / 22
１１月１５日(土)	展覧会	テーマを『秋の大空』に決め、作品を作り展示した。	16 / 22
１１月１８日(火)	秋祭り in みかさ 2025	利用者代表の 5 名は、出し物のゲームや食品の買い物を楽しんだ。	5 / 22
１２月２０日(土)	クリスマス会	くるみの会からのプレゼントやあおやぎ様からのケーキを受け取り、クリスマスの雰囲気を楽しんだ。	16 / 22
１月１７日(土)	書初め大会	書初めを通し、今年の目標や挑戦したいこと等を発表した。	14 / 22
１月３１日(土)	雑貨 Café MOCO CAFE	チーズケーキやパンナコッタ、シチューパイを手作りし、来客に振舞った。	16 / 22
２月１４日(土)	自立の里交流会 バルーンアート	バルーンアートを通じて、大地と大空の利用者の交流を深めながらイベントを楽しんだ。	18 / 22
３月２８日(土)	お疲れ様会	お菓子やジュースを喫食しながら、カラオケや出し物を見て楽しんだ。	19 / 22

7．健康管理実施状況

実 施 日	内　　容	実 施 者	人数（人）	
6月～12月各日	職員健康診断	福岡赤十字病院（定健）	職員　１６	２５
9月　　各日		伊藤整形（腰痛検査）	職員　９	
11月14日(火)	インフルエンザ予防接種	徳永クリニック（嘱託医）	利用者　９	２２
			職　員　１３	
6月24日(火)	嘱託医訪問診察	徳永クリニック（嘱託医）	利用者　７	２１
8月25日(月)			利用者　７	
10月27日(月)			利用者　７	

8．利用者個別指導実施状況

（1）動作法　　講師：舜地　勝人 氏

日　付	グループ
４月　８日（火）	Ｋ・Ｄグループ
５月１３日（火）	Ｓ・Ｐグループ
６月１０日（火）	Ｓ・Ｐグループ
７月　８日（火）	Ｋ・Ｐグループ
８月１２日（火）	Ｋ・Ｄグループ

（2）作業療法（ＯＴ）　講師：原田　靖子 氏

日　付	グループ
４月１７日（木）	Ｓ・Ｐグループ
５月１５日（木）	Ｋ・Ｐグループ
６月１９日（木）	Ｓ・Ｐグループ
７月１７日（木）	Ｋ・Ｓグループ
８月２１日（木）	Ｄ・Ｐグループ
９月１８日（木）	Ｋ・Ｄグループ

9．内部研修実施状況

（1）専門研究

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数（人）
４月１７日(木)	『事業所について』	内部講師	5
４月２３日(水)	『食事介助について』		7
５月２０日(火)	『利用者が利用するサービスについて』		6
５月２７日(火)	『発作について』		8
６月１８日(水)	『事業報告、事業計画.アンケート』		9
６月２５日(水)	『避難訓練について』		7
７月１５日(火)	『ＢＣＰ』		8

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数（人）
７月２４日(木)	『ＢＣＰ（感染対策)』	内部講師	7
９月２８日(木)	『虐待研修、身体拘束』		8
１０月１４日(水)	『虐待研修、身体拘束』		１０
１２月２４日(木)	『ノロウイルスについて』		7
１月２２日(木)	『ボディメカニクスについて』		6

（２）新任職員研修

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数（人）
７月１６日(水)	『職員処遇』 『庶務関係の手続き』 『収入支出』	内部講師	2
７月３１日(木)	『医療面での障がい者の特性・注意点等』		2

（３）ＢＣＰ研修

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数（人）
５月１５日(木)	『感染症予防研修』	医療法人 ハレクラニ　アロハ歯科	4
２月　５日(木)	『睡眠セミナー』	東洋羽毛 九州販売株式会社	3

（4）動作法講義

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数（人）
9月30日(火)	『症例ビデオ解説・質問事項回答』	舁地　勝人　氏	4
1月27日(火)	『症例ビデオ解説・質問事項回答』		5

10. 派遣研修実施状況

実 施 日	研修名　及び　テーマ	研修実施者	参加人数（人）
6月10日(火) 6月12日(木)	令和7年度 社会福祉施設役職員研修中堅職員研修	福岡県 社会福祉協議会	1
6月12日(木)	令和7年度 接遇研修（基礎コース）	福岡県 社会福祉協議会	1

11. 消火・通報・避難訓練

日　　程	訓練種別	参加人数（人）	
6月30日(月)	総合訓練 （消火・通報及び避難訓練）	利 用 者　20 職　　員　9 警備会社　2	31
11月30日(月)	総合訓練 （通報及び避難訓練）	利用者　20 職員　8	28

12. 支援参観

※　別紙「令和7年度　支援活動参観ご家族アンケート」参照

13. 利用者アンケート

※　別紙「令和7年度　利用者満足度調査アンケート」参照

日中一時支援

令和7年度の月平均利用件数は、1．3件、年間利用件数は16件であった。

（1）月別延べ利用者数　（単位:人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	1	1	2	1	2	0	2	2	1	2	16

居宅介護

１．サービスの安定・拡大及び収益の状況

（１）新規利用者の受け入れ及びサービスの安定・拡大

相談支援事業所等と連携を図りながら新規利用者の受け入れに努めた。また、既存利用者に対しても継続的かつ安定したサービス提供を行い、利用者・家族が安心して在宅生活を継続できるよう支援を行ったが、人員体制の影響もあり、サービスの拡大には至らなかった。

（２）人員体制及びサービス提供

年度途中に職員１名が産前休暇に入り、１名が退職したほか、登録ヘルパーについても複数名の退職があり、人員体制が不安定な状況となった。そのため、一部の曜日や時間帯ではヘルパー不足により調整が難しい場面も見られたが、職員および兼務職員が連携し、出勤調整等を行いながら可能な限りサービス提供の継続に努めた。

（３）人材確保の取組

ホームページや求人情報誌等を活用し、常勤職員および登録ヘルパーの募集を継続して行ったが、応募や問い合わせはあるものの、勤務条件などの調整が難しく、十分な人材確保はできなかった。

（４）収益状況

利用者の入院や体調不良による身体介護サービスのキャンセルに加え、一部利用者に対する職員の対応人数減少等もあり、サービス提供時間数および収益は減少した。

２．職員の育成及び支援力の向上

令和７年度より、職員の資質向上および判断力・知識・技術等の対応力向上を目的として、オンライン研修システム「ジョブメドレーアカデミー」を導入した。これにより、従来の集合研修に加え、業務の隙間時間を活用した受講が可能となり、継続的かつ計画的な研修機会の確保に繋げた。



◎イオンモール福岡でランチ



◎イルミネーション鑑賞



◎佐世保・ハウステンボス



◎お花見・桜鑑賞

３．利用者の状況

区　分	人　数（人）
大　空	９（　男性　５、女性　４　）
大　地	２７（　男性１５、女性１２　）
外　部	３６（　男性２１、女性１５　）
合　計	７２（　男性４１、女性３１　）

４．利用状況

（１）月別事業実績

①身体介護

区　分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	
実利用者数　(人)	３６	３５	３５	３８	３６	３７	
延利用件数　(件)	４２３	３７８	４１９	４４１	３８５	３５７	
延サービス時間(時間)	７３３.５	６９９.５	６５８.０	７３１.５	６５８.５	６８５.０	
区　分	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
実利用者数　(人)	３８	３６	４０	３７	３８	３９	４４５
延利用件数　(件)	４７３	３９４	４２９	３５１	３２８	３８５	4,７６３
延サービス時間(時間)	７５４.０	６２２.５	６６４.０	６６５.０	６１９.０	７０６.５	8,１９７.０

②家事援助

区　分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	
実利用者数　(人)	1	1	1	0	0	0	
延利用件数　(件)	4	2	1	0	0	0	
延サービス時間(時間)	2	1	1	0	0	0	
区　分	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
実利用者数　(人)	0	0	0	0	0	0	3
延利用件数　(件)	0	0	0	0	0	0	7
延サービス時間(時間)	0	0	0	0	0	0	4

③移動支援

区　分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	
実利用者数　(人)	３２	３８	３２	３１	２７	３６	
延利用件数　(件)	８４	８１	８７	７５	６４	８１	
延サービス時間(時間)	３０５.５	３１０.５	２７３.５	２４９.０	２４０.５	２８６.５	
区　分	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
実利用者数　(人)	３４	３０	２９	２７	３０	３０	３７６
延利用件数　(件)	８１	６６	６８	５７	６０	６５	８６９
延サービス時間(時間)	２８６.０	２３８.０	２１３.０	２００.０	２３９.０	２３９.０	３,０８０.５

④有償サービス（公的な制度ではカバーできない任意のサービス）

区　分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	
実利用者数　(人)	2	1	2	1	1	2	
延利用件数　(件)	5	2	4	3	1	2	
延サービス時間(時間)	８．０	１．０	４．５	１．５	０．５	１．０	
区　分	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
実利用者数　(人)	1	1	1	1	1	1	１５
延利用件数　(件)	1	1	2	1	3	1	２６
延サービス時間(時間)	０.５	０.５	1	０.５	１.５	０.５	２１

（２）年度別事業実績の推移

①事業実績合計

区　分	令和７年度	令和６年度	令和５年度
実利用者数　(人)	８３９	８４７	７８７
延利用件数　(件)	5,６６５	5,７２９	5,６８７
延サービス時間(時間)	１１,３０２.５	１１,８０２.０	１１,４２９.５

②事業実績月平均

区　分	令和７年度	令和６年度	令和５年度
実利用者数　(人)	６９.９	７０.６	６５.６
延利用件数　(件)	４７２.０	４７７.４	４７３.９
延サービス時間(時間)	９４１.９	９８３.５	９５２.５

５．内部研修実施状況

実 施 日	研 修 名	研修実施者	参加者(人)
５月２３日（金）	感染症及び食中毒まん延防止対策研修	内部講師	１０
６月２７日（金）	AI・ICT の導入と使い方		１０
７月２５日（金）	重度身体障がい者支援における OJT 体制の構築		１０
８月２９日（金）	キャリアプラン・自己目標設定研修		１０
９月２６日（金）	介護技術向上研修		8
１０月１７日（金）	他己評価で知る、自分のコミュニケーションスタイル（入浴介助編）		１０
１１月１７日（月）	なぜ報連相が必要なのか		１０
１２月１６日（火）	ヒヤリハット研修		１０
１月１６日（金）	衣服の着脱介助研修		9
２月２７日（金）	感染症・食中毒まん延防止研修（手洗いチェッカーによる衛生管理の見える化）		9
３月３１日（火）	新人・部下指導 × OJT × モラル・接遇の実践		9

６．外部研修実施状況

実 施 日	研修名	研修実施者	参加者(人)
７月	業務継続計画（BCP） 感染症研修	ジョブメドレーアカデミー	１０
	感染症対策研修		１０
	業務継続計画（BCP） 自然災害研修		１０
８月	ハラスメントに関する研修		１０
	虐待防止及び身体拘束研修		１０
９月	居宅介護サービスに関わる者の心得		9
	緊急時の対応に関する研修		9
１０月	介護現場で気をつけたいプライバシー保護に関する研修		9

実 施 日	研修名	研修実施者	参加者(人)
１０月	家族との連絡ノートについて	ジョブメドレーアカデミー	9
１１月	口腔ケア研修		9
	腰への負担が少ない移乗介助		9
１２月	同行援護サービスに関わる者の心得		9
	重度訪問介護を行うヘルパーとしての心得		9
１月	排泄・入浴・食事介助の基本		9
	障がい特性から考えるトラブル ～訪問系～		9
２月	感染症対策研修		9
３月	強度行動障がいの支援方法＜実技編＞		9
	強度行動障がいの支援方法＜知識編＞		9

※令和７年度より、「ジョブメドレーアカデミー」を活用したオンライン研修を外部研修として導入した。

短期入所

１．安定したサービスの提供

（１）利用者のキャンセル発生時には、他利用者への利用調整を行い、利用枠の調整を行ってきた。しかし、緊急依頼の件数が例年より少なく、全体的な利用依頼数も微減したことから、空きが生じた時間帯については調整により対応したものの、利用日数の増加には至らなかった。

（２）生活介護事業および居宅介護事業との兼務体制を活用し、職員間の連携を図ることで、緊急時や欠員時においても受け入れ体制の維持に努めた。その結果、収益面での大きな増加には至らなかったものの、必要時におけるサービス提供体制を確保し、安定した受け入れを継続できた。

（３）オンライン研修システム「ジョブメドレーアカデミー」の導入により職員が継続的に専門知識や支援技術を習得できる環境を整備し、職員の専門性および対応力の向上、サービスの質の安定化および継続的な提供体制の維持を図った。



◎ドキドキの初利用



◎美味しい夕食



◎皆でテレビ鑑賞



◎リラクゼーション

２．利用状況　　（単位：件）

区　分		男　性		女　性		合　計	
４　月	１泊２日	２９		１５		４４	
	２泊３日	８		２		１０	
	３泊４日	１	３８	２	１９	３	５７
５　月	１泊２日	２３		１８		４１	
	２泊３日	９		３		１２	
	３泊４日	１	３３		２１	１	５４
６　月	１泊２日	３０		１７		４７	
	２泊３日	７		２		９	
	３泊４日	１	３	３	２２	４	６０
７　月	１泊２日	３０		１９		４９	
	２泊３日	７		１		８	
	３泊４日	１	３８	２	２２	３	６０
８　月	１泊２日	２６		２１		４７	
	２泊３日	７		１		８	
	３泊４日	２	３５	１	２３	３	５８
９　月	１泊２日	２２		１７		３９	
	２泊３日	５		４		９	
	３泊４日	１				１	
	４泊５日	２				２	
	８泊９日	１	３１		２１	１	５２
１０　月	１泊２日	２７		１７		４４	
	２泊３日	８				８	
	３泊４日	１	３６	２	１９	３	５５
１１　月	１泊２日	３１		１９		５０	
	２泊３日	４		２		６	
	３泊４日	１	３６		２１	１	５７
１２　月	１泊２日	２６		１６		４２	
	２泊３日	１０		４		１４	
	３泊４日	１	３７	１	２１	２	５８
１　月	１泊２日	２２		１８		４０	
	２泊３日	１０		２		１２	
	３泊４日	１	３３	２	２２	３	５５

区　分		男　性		女　性		合　計	
２ 月	１泊２日	２７		１８		４５	
	２泊３日	5		3		8	
	３泊４日	1				1	
	４泊５日	1	３４		２１	1	５５
３ 月	１泊２日	２６		２０		４６	
	２泊３日	9		2		１１	
	３泊４日	1		1		2	
	４泊５日	1	３７		２３	1	６０
合　計	１泊２日	３１９		２１５		５３４	
	２泊３日	８９		２７		１１６	
	３泊４日	１３		１３		２６	
	４泊５日	4				4	
	８泊９日	1	４２６		２５５	1	６８１
月間平均利用者数		３５．５		２１．３		５６．８	

３．利用者の利用状況　　（単位：人）

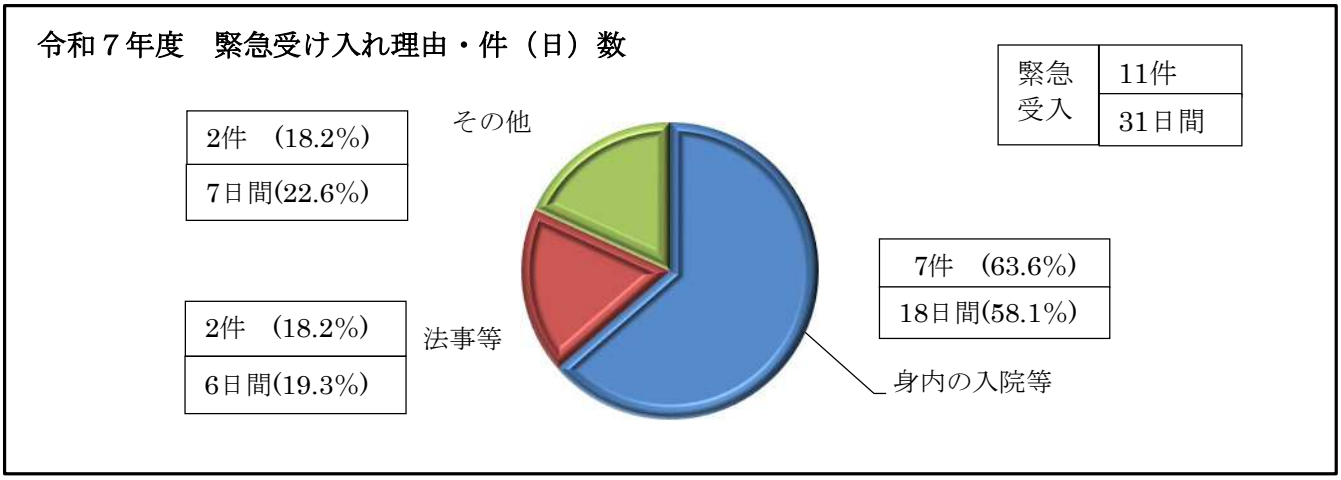
区　分	男　性	女　性	合　計
大　地	２２３	１６０	３８３
大　空	１８２	８９	２７１
外　部	２２	6	２８
合　計	４２７	２５５	６８２

４．利用状況の推移（令和５年度～令和７年度）　　（単位：件）

宿泊日数	７年度		６年度		５年度	
１泊　２日	男性　３２０	５３５	男性　３２４	５４９	男性　３５６	５６４
	女性　２１５	(1,070 日)	女性　２２５	(1,098 日)	女性　２０８	(1,128日)
２泊　３日	男性　８９	１１６	男性　９２	１１３	男性　７７	１１３
	女性　２７	(345日)	女性　２１	(339日)	女性　３６	(339日)
３泊　４日	男性　１３	２７	男性　１０	２５	男性　8	２１
	女性　１４	(108日)	女性　１５	(100日)	女性　１３	(84日)
４泊　５日	男性　4	4	男性　0	3	男性　0	0
	女性　0	(20日)	女性　3	(15日)	女性　0	
６泊　７日	男性　0	0	男性　0	1	男性　2	2
	女性　0		女性　1	(6日)	女性　0	(14日)

８泊　９日	男性　1 女性　0	1 （　９日）	男性　0 女性　0	0	男性　0 女性　0	0
宿泊日数	７年度		６年度		５年度	
合　計	男性　４２６ 女性　２５５	６８１ （1,５５２日）	男性　４２６ 女性　２６５	６９１ （1,５５８日）	男性　４４３ 女性　２５７	７００ （1,５６５日）
	内 緊急受入れ １１（１．６%）		内 緊急受入れ １２（１．７%）		内 緊急受入れ １４（２．０%）	
月間平均	５６．８		５７．６		５８．３	

５．緊急受け入れ



６．内部研修実施状況

実 施 日	研 修 名	研修実施者	参加者(人)
７月２５日（金）	重度身体障がい者支援における OJT 体制の構築	内部講師	3
１１月１７日（月）	なぜ報連相が必要なのか		3
２月２７日（金）	感染症・食中毒まん延防止研修 （手洗いチェッカーによる衛生管理の見える化）		3

７．外部研修実施状況

実 施 日	研 修 名	研修実施者	参加者(人)
７月	業務継続計画（BCP）に関する研修 ～感染症～	ジョブメドレーアカデミー	3
	感染症対策研修		3
	業務継続計画（BCP）に関する研修 ～自然災害～		3
８月	ハラスメントに関する研修		3
	虐待防止及び身体拘束研修		3
９月	居宅介護サービスに関わる者の心得		3
	緊急時の対応に関する研修		3

１０月	介護現場で気をつけたいプライバシー保護に関する研修	ジョブメドレーアカデミー	3
	家族との連絡ノートについて		3
１１月	障がい特性から考えるトラブル		3
	腰への負担が少ない移乗介助		3
１２月	生活支援員・世話人としての心得		3
１月	排泄・入浴・食事介助の基本		3
	排泄・入浴・食事介助の実践		3
２月	感染症対策研修		3
３月	利用者さんへの配慮～精神障がい・発達障がい～		3

８．職員の勤務状況　　（単位：回）

月	夜間勤務			宿直勤務			日中勤務（土,日,祝）			合　計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
４月	１８	１１	２９	１０	３	１３	９	９	１８	３７	２３	６０
５月	１７	１１	２８	１１	５	１６	６	７	１３	３３	２２	５５
６月	１８	１２	３０	１１	５	１６	５	６	１１	３４	２３	５７
７月	１８	１１	２９	１３	６	１９	７	６	１３	３８	２３	６１
８月	１８	１１	２９	１０	３	１３	７	５	１２	３５	１９	５４
９月	２０	１０	３０	１２	４	１６	７	６	１３	３９	２０	５９
１０月	１８	１０	２８	１１	２	１３	２	５	７	３１	１７	４８
１１月	１６	９	２５	１１	４	１５	５	５	１０	３２	１８	５０
１２月	１９	１２	３１	１０	２	１２	４	３	７	３３	１７	５０
１月	１８	１１	２９	１１	４	１５	２	２	４	３１	１７	４８
２月	１７	９	２６	１２	４	１６	７	７	１４	３６	２０	５６
３月	１９	１１	３０	１３	５	１８	３	５	８	３５	２１	５６
合計	２１６	１２８	３４４	１３５	４７	１８２	６４	６６	１３０	４１５	２４１	６５６
月間平均	１８．０	１０．７	２８．７	１１．３	３．９	１５．２	５．３	５．５	１０．８	３４．６	２０．１	５４．７

※夜間（１７時～９時）・宿直（１９時～９時）勤務は１泊２日で１回。日中（９時～１８時）勤務は、１日で１回。